

春の恵みを育む雨～二十四節気「穀雨」を迎えて～

桜の時期があっという間に終わりましたが、草木が青々と新芽を出し、生き生きと輝きを増し、まさに生命の息吹を感じる頃となりました。4月20日(日)は二十四節気の一つである「穀雨」でした。暦の上では、もうじき夏を迎える晩春の「穀雨」について、その意味や楽しみ方などをご紹介します。(この文章はGoogleの生成AI「Gemini」と一緒に考えました。)



春の二十四節気 春には、以下のような六つの節気があります。

- 立春(りっしゅん)：2月4日頃。暦の上で春が始まる日。
- 雨水(うすい)：2月19日頃。雪が雨に変わり、草木が芽生え始める頃。
- 啓蟄(けいちつ)：3月5日頃。冬眠していた虫たちが地上に出てくる頃。
- 春分(しゅんぶん)：3月20日頃。昼と夜の長さがほぼ同じになる日。
- 清明(せいめい)：4月5日頃。空気が澄み渡り、草花が生き生きと茂る頃。
- 穀雨(こくう)：4月20日頃。田畑を潤す雨が降り、穀物の成長を助ける頃。

二十四節気



穀雨ってどんな季節？

「穀雨」は、4月20日頃から5月4日頃までの期間を指します。この時期は、春の終わりに近く、夏の足音が聞こえ始める頃。文字通り「穀物を潤す雨」という意味があり、田畑を潤す恵みの雨が降る大切な季節とされています。春に種をまいた穀物が順調に成長するために、この時期の雨は非常に重要な意味をもちます。

穀雨の頃の自然と暮らし 様々な植物が芽吹き、花を咲かせ、まさに春爛漫といった景色が広がります。

- 「山菜の旬」たららの芽、ごごみ、うどなど、春の味覚である山菜が旬を迎えます。
- 「田植えの準備」農家の方々にとっては、田植えの準備で忙しくなる時期です。
- 潤った田んぼに苗が植えられていく様子は、希望に満ちていますね。
- 「牡丹や藤の花」美しい牡丹や藤の花が見頃を迎えます。その華やかな姿は、私たちの心を和ませてくれます。



穀雨の楽しみ方 穀雨の時期には、ぜひ自然に触れ、季節の恵みを味わってみてください。

山菜採り

新鮮な山菜を自分で採って、料理してみるのも楽しいですね。ただし、採取場所や種類には十分注意してください。

春の味覚を味わう

スーパーや市場には、旬の野菜や魚介類が並びます。これらの食材を使った料理に挑戦してみましょう。

庭や公園を散策する

色とりどりの花々や、新緑の美しい景色をゆっくりと楽しむのもおすすめです。

雨の日の過ごし方

雨の日には、読書をしたり、ゆっくりとお茶を飲んだりして、静かに過ごすのも良いでしょう。雨音を聞きながら過ごす時間は、心に安らぎを与えてくれます。

「穀雨」は、自然の恵みを感じ、日々の暮らしに感謝する良い機会です。この季節ならではの楽しみを見つけ、豊かな時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

